

様式第3号（第8条関係）

記載例

平成30年 6月15日

平川市長 様

申請書の提出年月日を記入

申請者 住 所 平川市柏木町藤山25-6
氏 名 平 川 太 郎 ⑩
電話番号 0172-44-1111

住所、氏名、連絡のとれる電話番号を記入

平川市老朽危険空家等解体撤去補助金交付申請書

実施年度を記入

平成30年度平川市老朽危険空家等解体撤去補助金の交付を受けたいので、平川市老朽危険空家等解体撤去補助金交付要綱第8条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

解体撤去費の1/2（千円未満切り捨て）若しくは限度額500,000円
（収支予算書の補助金額と同額）

- 1 補助申請額 金 500,000 円
- 2 事業計画書 (別紙のとおり)
- 3 収支予算書 (別紙のとおり)
- 4 その他の関係書類

事業計画書

事業の名称		平川市老朽危険空家等解体撤去補助金	
対象となる建築物	空家所在地	平川市猿賀南田15-1 ※空家の所在地番を記入	
	空家所有者	(氏名) 平川太郎	(住所) 平川市柏木町藤山25-6 ※原則、登記簿上の所有者を記入 所有者が死亡している場合は氏名の後に(亡)と記入
	土地所有者	(氏名) 平川太郎	(住所) 平川市柏木町藤山25-6 ※原則、登記簿上の所有者を記入 所有者が死亡している場合は氏名の後に(亡)と記入
	構造	木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート・その他() ※該当項目に○印	
	床面積	延べ床面積	132 平方メートル ※床面積を記入
	建築年	昭和56年ごろ・建築年不明 ※建築年を記入	
	空家になった時期	昭和 平成 ※住まなくなった時期を記入 25年 4月ごろから	
事業期間	平成30年 6月 25日 ~ 平成30年 9月 24日 ※書類審査に1~2週間要しますので、期間を空けてください。		
施工業者の業者名 業者の所在地	業者名：○○建設 所在地：平川市碓ヶ関三笠山107-1		施工業者名を記入
添付書類	(申請者全員必要な書類) <input checked="" type="checkbox"/> 1. 空家等の位置図 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 工事業者からの見積書 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 空家等の現況写真 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 補助申請者の住民票謄本 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 対象空家等の最新の登記事項証明書(未登記の場合は固定資産税納税通知書の写し等) 提出書類をチェック		
	(該当する場合のみ必要な書類) <input type="checkbox"/> 6. 戸籍謄本等(建物所有者が死亡しており、その法定相続人が申請をする場合) <input type="checkbox"/> 7. 委任状(申請手続きを代理人が行う場合) <input type="checkbox"/> 8. 同意書(建物と土地の所有者が異なる場合) <input type="checkbox"/> 9. 確約書(必要な条件に該当する場合) <input type="checkbox"/> 10. その他関係資料()		

【同意事項】

本補助金交付申請書及び添付書類（以下、「本申請書類」と言う。）の審査のため、市が私の住民基本台帳及び課税状況等について確認することに同意します。

（申請者） 氏名 平 川 太 郎 ㊞

同意事項に同意する場合は記名、押印
（※記名、押印がない場合は、受付できません。）

【確認事項】

私は、平川市老朽危険空家等解体撤去補助金の制度内容をすべて確認した上で、本申請書類を市へ提出します。

（市の審査で、本申請書類に不足書類や制度内容に合わない事項が判明した場合、制度内容に合った書類を確認できるまでは、補助金交付決定ができません。）

（申請者） 氏名 平 川 太 郎 ㊞

確認事項を了承する場合は記名、押印
（※記名、押印がない場合は、受付できません。）

収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	説明
補助金	500,000	解体撤去費×1/2（上限 500,000 円）
自己資金	700,000	解体撤去費から補助金を差し引いた残額を記入
計	1,200,000	

2 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	説明
解体撤去費	1,200,000	施工業者からの見積額を記入
計	1,200,000	